第１回原村高齢者福祉計画策定委員会

議事録

日時：令和5年12月15日（金）

午後　6時半から

場所：原村地域福祉センター　多目的ホール

**１　開会**

・伊藤課長より開会あいさつ

**２　会長あいさつ（小島会長）**

・お疲れのところ、お集まりいただき、ありがとうございます。

・来年度からの３年間の第９期計画について、ご協議をお願いいたします。

**３　自己紹介**

**○各委員より自己紹介**

**４　議事**

**（1）現行計画の状況と次期計画策定のための課題抽出**

（地域総合計画より資料説明）

**■アンケート調査**

**○森委員**

・アンケート調査結果に違和感があるため確認したい。

・長野県が実施された調査について、人数や対象者など具体的な属性について説明をお願いしたい。

**○事務局**

・昨年度に、諏訪広域連合より原村へアンケート調査協力の依頼があり、無作為に対象者を抽出している。

**○小島会長**

・調査対象者や実施日程などアンケート調査の概要については、計画書にもきちんと整理して記載する必要がある。

**○森委員**

・長野県から依頼があり、原村から対象者リストを提出したと説明があったが、本日の資料においては設問によって対象者が異なるため、分かりやすく記載していただきたい。

・回答者が31名の設問があり大変少ないため、原村の高齢者の現状を反映できていないのではないかと考える。そのため、このアンケート調査結果のみを見て討論しても、しょうがないのではないか。

**○牛山委員**

・森委員と同じ意見である。原村の高齢者は約2,800人おり、30人程度の回答のみを見て議論するのは危険である。

・また、ボランティアについての調査結果も掲載されているが、以前実施したボランティアに対する調査では、関心が低いという結果があり、そのため、ボランティア制度の導入について議論があったと記憶している。

・特に、新しい移住者はボランティアに意欲があるが、これまでの居住者はあまり意欲が無いとの分析であった。

・ボランティアに興味がある方が多いということは良い結果ではあるが、この３年間で、本当にアンケート結果が変わるものか不思議である。

**○森委員**

・第８期計画策定時に実施したアンケート調査とも比較し、分析していただきたい。そのようなことが大切ではないか。

**○事務局**

・アンケート調査の回答者数が少ないため、原村の高齢者全体の声と捉えられないというご指摘については、御尤もであると考える。

・アンケート調査は無作為抽出であり全く同じ対象者ではないため、単純比較は難しいが、出来る限り分かりやすいような整理・分析を行い、次回の会議でお示ししたい。

**○松澤委員**

・第８期計画の事業に対し、その進捗状況など検証をしていただくことで、次の計画がしっかり立ってくると考えるため、そのあたりを明確にして頂きたい。

**○事務局**

・第８期計画の事業進捗についても、あわせて整理して提示したい。

**○福原委員**

・アンケート調査について、他市町村の場合はどのような結果であったか教えていただきたい。

・地域性が異なるため一概に比較はできないが、参考として把握し、原村の取組につなげられると良い。

**○事務局**

・ご提案いただいた通り、可能な限り比較できる情報を入手し、提示する方向で検討したい。

**○松澤委員**

・先日の広報はらに、諏訪広域連合でのアンケート結果が掲載されていた。この結果を参考にしていただき、データを作成してはどうか。

**○事務局**

・諏訪広域連合の原村以外の市町村については、データを入手できると考える。

**○小島会長**

・前回のアンケート調査と比較し、今回は割合が大きい・小さいなどの比較した分析も盛り込んでいただいた方が、調査結果が分かりやすくて良い。例えば、コロナの影響の説明があったが、そのような文面を追加していただきたい。

**○田中委員**

・包括支援センターのアンケート調査のように、1000人程度の回答がある調査であれば、傾向が見えてくる。

・しかし、回答者数が31名では傾向が捉えられないため、次回以降において、アンケート調査の回収率を上げる取り組みが重要であると考える。

・実施する際には、書くことが大変な方もいるため、そのような方への配慮も必要である。今後、事業所としても協力は可能である。

・ある程度のボリュームある調査結果を分析しないと、議論できないのではないか。

**○清水委員**

・アンケート調査については、全戸配布でも良いくらいであり、対象者が少ないと見えてこない。

・アンケート調査結果を見ると、ボランティアに関する設問は包括支援センター調査である。一方、長野県のアンケート調査結果も含まれており、原村の状況が見えてこない。そのため、第８期調査と第９期調査を比較するなど、工夫が必要である。

・ボランティア意欲について、約25％が取組みたいとあるが、実際にどのくらいの方が興味あるのか。

**○事務局**

・お示ししている長野県実施のアンケート調査については、基本的に、第８期計画策定時のアンケート調査と同じ方法で実施しているアンケート調査である。

・また、包括支援センター調査については、70～85歳の方で、要介護認定を受けていない方（支援認定は含む）1,530人に配布している。1,002通の回収があり、約６割の回収率である。

・ボランティアについては、回答者1,002人中244人がボランティアをやってみたいと回答している。特に、人口が多い原山、中新田、払沢の３地区で多い。

**■課題の検討**

**○田中委員**

・本日の資料について、第８期計画の基本目標に沿って、課題を整理しているのか。

**○事務局**

・アンケート調査結果や国の方針、県の計画案より、今後取り組むべき重要ポイントや課題が見えてきた点を整理しており、第８期の体系とはリンクしていない。

**○森委員**

・前回の第８期計画では、課題を３つに絞った。

**○松澤委員**

・本日の資料は文字の羅列であり、特に国の方針は言葉も難しいため、大変分かりにくく、議論のしようがない。

・原村ではどのようなことが問題であり、課題は何であると示していただかないと議論できない。

**○小島会長**

・計画は、理念や目標があり、それにつながって施策事業の体系となっている。

・国の方針などを見ても議論しにくいため、具体的に第８期計画の事業の進捗状況などを示していただく方が議論しやすい。

**○事務局**

・解釈しにくく、議論しにくい資料であるとの意見が多数あり、ご指摘は御尤もであると考える。

・国や諏訪広域連合との整合性も重要であるが、村としての課題をお示しすることも重要である。事業検証から見ていただき、ご議論いただくような方法で進めていきたい。

・次回においては、ご指摘のあった点を踏まえて資料を検討する。

**（2）今後のスケジュールについて**

（地域総合計画より説明）

**○事務局**

・当初予定のスケジュールでは、頂戴したご意見を踏まえ計画素案を作成し、1月末～２月上旬に第2回委員会でご審議いただき、その結果を踏まえて２月下旬にパブリックコメントを実施する予定としていた。

・しかし、本日のご意見を頂戴する中で、当初予定のようなスケジュールで進めるのは難しいと考えるため、スケジュールについては、改めてご相談させて頂きたい。

・委員の皆さまにも十分にご議論いただき、最終的には村民の皆さまにも見ていただくパブリックコメントを実施し、有効な計画としたい。

**５　閉会（森副会長）**

・ご苦労さまでした。

・委員として参画しているが、抽象的であり各論にいけない悔しさもある。

・原村の良いところもたくさんあるが、劣っているところもあると思うため、全国の動向を踏まえながらも、原村ではどこを議論していくべきか、ご提案いただきながら進めたい。

・この数年で原村も変化しているところもあり、議論できるデータをぜひ作成していただきたい。

**６　その他**

**○事務局**

・冬季は積雪問題もあるが、委員会の開催時間は18：30でよいか。

・日程については、改めてご連絡させていただく。

以上